

平成 22 年 度

盛岡市一般会計及び各特別会計
歳入歳出決算概要説明書

平成22年度盛岡市一般会計及び 各特別会計歳入歳出決算概要説明書

平成22年度盛岡市一般会計及び各特別会計の歳入歳出決算の概要について説明いたします。

最初に、一般会計歳入歳出決算について説明いたします。

当初予算額は、歳入歳出とも101,485,000,000円でしたが、その後、事業の進展及び地方交付税等の確定に伴い第1号から第6号までの補正が行われ、これに平成21年度からの繰越額（継続費の通次繰越及び繰越明許費、事故繰越し）を加えた最終予算現額は、歳入歳出とも110,259,164,835円となったものであります。

会計事務の執行にあたりましては、常に歳入の確保に、また、歳出につきましては適正な事業の執行の確立に最善の努力を傾注し、法令及び予算議決の趣旨に十分適合することを旨として執行しました。

このようにして執行しました結果、決算額は、歳入総額が107,026,187,165円、歳出総額が104,272,568,355円となりましたので、歳入歳出差引額2,753,618,810円は、剰余金として平成23年度へ繰越ししております。

この剰余金から翌年度へ繰り越すべき財源613,969,737円を差し引きました平成22年度実質収支は2,139,649,073円の黒字であります。

なお、平成21年度から平成22年度へ繰り越した額が1,162,364,775円でありましたので、単年度収支は977,284,298円の黒字であり、これを、平成21年度の決算と対比して表示いたしますと、次表のとおりであります。

区 分	年 度		平成22年度	平成21年度	増 減
			円	円	円
1	予 算 現 額		110,259,164,835	112,887,989,292	△2,628,824,457
2	歳 入 総 額	(A)	107,026,187,165	109,339,818,663	△2,313,631,498
3	歳 出 総 額	(B)	104,272,568,355	108,080,339,952	△3,807,771,597
4	歳 入 歳 出 差 引 額	(A)-(B) (C)	2,753,618,810	1,259,478,711	1,494,140,099
5	翌年度へ繰り 越すべき財源	(D)	613,969,737	97,113,936	516,855,801
6	当 年 度 実 質 収 支	(C)-(D) (E)	2,139,649,073	1,162,364,775	977,284,298
7	前 年 度 実 質 収 支	(F)	1,162,364,775	759,313,860	403,050,915
8	単年度収支	(E)-(F) (G)	977,284,298	403,050,915	574,233,383
9	積 立 金	(H)	2,650,788,781	470,051,951	2,180,736,830
10	繰上償還金	(I)	0	399,684	△ 399,684
11	積 立 金 取りくずし額	(J)	3,932,048	393,430,106	△ 389,498,058
12	実質単年度 収 支	(G)+(H)+(I) -(J) (K)	3,624,141,031	480,072,444	3,144,068,587

以下、歳入と歳出とに分けて、その概要を説明いたします。

まず、歳入は、次表のとおりであります。

年度 区分	平成22年度	平成21年度	比較	
			金額	率
予算現額	円 110,259,164,835	円 112,887,989,292	円 △ 2,628,824,457	% △ 2.3
調定額	111,375,425,543	113,661,886,188	△ 2,286,460,645	△ 2.0
収入済額	107,026,187,165	109,339,818,663	△ 2,313,631,498	△ 2.1
不納欠損額	244,569,641	248,440,861	△ 3,871,220	△ 1.6
収入未済額	4,126,255,489	4,085,372,223	40,883,266	1.0
収入率	% 96.1	% 96.2	—	△ 0.1

(率は小数点第2位を四捨五入で表示。次表以下同じ。)

調定額 111,375,425,543 円に対し、収入済額が 107,026,187,165 円でありましたので、収入率(調定額に対する収入済額の比率をいう。以下同じ。)は、96.1%で前年度に比較し 0.1 ポイント低くなっております。

不納欠損額は 244,569,641 円ですが、その主なものは、市税の 205,828,298 円です。その内訳は、市民税 69,462,718 円、固定資産税 113,182,721 円、軽自動車税 3,514,422 円、都市計画税 19,668,437 円となっております。

収入未済額は 4,126,255,489 円となっておりますが、その主なものは、市税の 3,520,618,630 円です。

その他の収入未済額の主なものは、次のとおりであります。

第 13 款分担金及び負担金では、第 1 項第 2 目第 2 節児童福祉施設運営費負担金で 126,858,172 円です。

第 14 款使用料及び手数料では、第 1 項第 7 目第 9 節住宅使用料で 200,623,726 円ですが、その内訳は、公営住宅が 1,420 件 188,351,086 円、改良住宅が 146 件 9,615,410 円、コミュニティ住宅が 10 件 2,657,230 円となっております。

第 21 款諸収入では、第 1 項第 3 目第 1 節過料で 82,176,034 円です。

歳入の確保につきましては、鋭意努力してまいりましたが、以上のような結果になりました。

なお、収入未済額については、引き続き徴収に努力しております。

次に、歳出は、次表のとおりであります。

区 分	年 度		比 較	
	平成22年度	平成21年度	金 額	率
	円	円	円	%
予 算 現 額	110,259,164,835	112,887,989,292	△ 2,628,824,457	△ 2.3
支 出 済 額	104,272,568,355	108,080,339,952	△ 3,807,771,597	△ 3.5
翌年度繰越額	4,235,357,278	4,164,616,835	70,740,443	1.7
不 用 額	1,751,239,202	643,032,505	1,108,206,697	172.3
執 行 率	% 94.6	% 95.7	—	△ 1.1

予算現額 110,259,164,835 円に対し、支出済額が 104,272,568,355 円でありましたので、執行率（予算現額に対する支出済額の比率をいう。以下同じ。）は 94.6%で前年度に比較し 1.1 ポイント低くなっております。

不用額は 1,751,239,202 円となっておりますが、その主なものは、次のとおりであります。

第 2 款総務費第 1 項第 8 目第 15 節工事請負費の 75,598,547 円は、移動通信用施設整備事業の様変更などによるものであります。

第 3 款民生費第 2 項第 2 目第 20 節扶助費の 93,340,330 円は、子ども手当の支給件数が見込みを下回ったことなどによるものであります。

第 4 款衛生費第 3 項第 3 目第 19 節負担金、補助及び交付金の 141,883,421 円は、新型インフルエンザ予防接種事業補助金の申請者が見込みを下回ったことなどによるものであります。

第 7 款商工費第 1 項第 2 目第 19 節負担金、補助及び交付金 21,206,253 円と第 21 節貸付金の 20,000,000 円は、新規融資の利用件数が見込みを下回ったことなどによるものであります。

第 8 款土木費第 2 項第 2 目第 13 節委託料の 64,107,498 円は、除排雪出動回数が見込みを下回ったことなどによるものであります。

第 10 款教育費第 2 項第 3 目第 15 節工事請負費の 207,735,525 円は、繫小学校校舎増改築事業費及び向中野小学校建設事業費が支出見込額を下回ったことなどによるものであります。

第 10 款教育費第 3 項第 3 目第 15 節工事請負費の 496,366,240 円は、厨川中学校校舎改築事業費が支出見込額を下回ったことなどによるものであります。

以上が歳出の概要であります。本年度は、前年度に比較し収入済額が 2,313,631,498 円、2.1%、支出済額が 3,807,771,597 円、3.5%それぞれ減少しました。

この間において、歳計現金の運用により生じた利子収入は 8,787,339 円であります。

なお、財政調整基金には、地方財政法の規定に基づくもののほか、当該基金の運用収入も合わせまして 2,650,788,781 円を積立てしました。

次に、特別会計であります、会計事務の執行にあたりましては一般会計と同様の配慮のもとに執行いたしました。

まず、歳入についてであります、全ての特別会計における合計額は次表のとおりであります。

区 分 \ 年 度	平成22年度	平成21年度	比 較	
			金 額	率
	円	円	円	%
予 算 現 額	47,693,353,000	46,276,884,000	1,416,469,000	3.1
調 定 額	51,805,060,449	50,149,232,642	1,655,827,807	3.3
収 入 済 額	47,478,667,934	45,983,785,446	1,494,882,488	3.3
不 納 欠 損 額	439,932,893	379,506,757	60,426,136	15.9
収 入 未 済 額	3,895,645,435	3,795,827,934	99,817,501	2.6
収 入 率	% 91.6	% 91.7	—	△ 0.1

調定額 51,805,060,449 円に対し、収入済額が 47,478,667,934 円でありましたので、収入率は 91.6%で前年度に比較し 0.1 ポイント低くなっております。

次に、歳出の合計額は、次表のとおりであります。

区 分 \ 年 度	平成22年度	平成21年度	比 較	
			金 額	率
	円	円	円	%
予 算 現 額	47,693,353,000	46,276,884,000	1,416,469,000	3.1
支 出 済 額	47,351,965,520	45,883,077,528	1,468,887,992	3.2
翌年度繰越額	0	0	0	0.0
不 用 額	341,387,480	393,806,472	△ 52,418,992	△ 13.3
執 行 率	% 99.3	% 99.1	—	0.2

予算現額 47,693,353,000 円に対し、支出済額が 47,351,965,520 円でありましたので、執行率は 99.3%で前年度に比較し 0.2 ポイント高くなっております。

以上のとおり、収入済額 47,478,667,934 円に対し、支出済額は 47,351,965,520 円でありましたので、差引残額 126,702,414 円は、剰余金として平成 23 年度へ繰越ししております。

以下、特別会計ごとに、その概要を説明します。

まず、公設浄化槽事業費特別会計歳入歳出決算であります。歳入は、次表のとおりであります。

区 分 \ 年 度	平成22年度	平成21年度	比 較	
			金 額	率
予 算 現 額	円 15,789,000	円 20,672,000	円 △ 4,883,000	% △ 23.6
調 定 額	15,858,404	20,744,193	△ 4,885,789	△ 23.6
収 入 済 額	15,858,404	20,744,193	△ 4,885,789	△ 23.6
収 入 未 済 額	0	0	0	0.0
収 入 率	% 100.0	% 100.0	—	0.0

調定額 15,858,404 円に対し、収入済額が 15,858,404 円でありましたので、収入率は前年度と同率の 100.0%であります。

次に、歳出は、次表のとおりであります。

区 分 \ 年 度	平成22年度	平成21年度	比 較	
			金 額	率
予 算 現 額	円 15,789,000	円 20,672,000	円 △ 4,883,000	% △ 23.6
支 出 済 額	15,692,237	20,611,012	△ 4,918,775	△ 23.9
不 用 額	96,763	60,988	35,775	58.7
執 行 率	% 99.4	% 99.7	—	△ 0.3

予算現額 15,789,000 円に対し、支出済額が 15,692,237 円でありましたので、執行率は 99.4% で前年度に比較し 0.3 ポイント低くなっております。

以上のとおり、収入済額 15,858,404 円に対し、支出済額は 15,692,237 円でありましたので、差引残額 166,167 円は、剰余金として平成 23 年度へ繰越ししております。

次に、農業集落排水事業費特別会計歳入歳出決算であります。歳入は、次表のとおりであります。

年度 区分	平成22年度	平成21年度	比較	
			金額	率
	円	円	円	%
予算現額	528,924,000	607,787,000	△ 78,863,000	△ 13.0
調定額	544,832,900	621,880,916	△ 77,048,016	△ 12.4
収入済額	530,512,509	609,030,105	△ 78,517,596	△ 12.9
不納欠損額	1,533,801	1,203,976	329,825	27.4
収入未済額	12,814,253	11,663,876	1,150,377	9.9
収入率	% 97.4	% 97.9	—	△ 0.5

調定額 544,832,900 円に対し、収入済額が 530,512,509 円でありましたので、収入率は 97.4% で前年度に比較し 0.5 ポイント低くなっております。

次に、歳出は、次表のとおりであります。

年度 区分	平成22年度	平成21年度	比較	
			金額	率
	円	円	円	%
予算現額	528,924,000	607,787,000	△ 78,863,000	△ 13.0
支出済額	528,170,782	605,696,371	△ 77,525,589	△ 12.8
不用額	753,218	2,090,629	△ 1,337,411	△ 64.0
執行率	% 99.9	% 99.7	—	0.2

予算現額 528,924,000 円に対し、支出済額が 528,170,782 円でありましたので、執行率は 99.9% で前年度に比較し 0.2 ポイント高くなっております。

以上のとおり、収入済額 530,512,509 円に対し、支出済額は 528,170,782 円でありましたので、差引残額 2,341,727 円は、剰余金として平成 23 年度へ繰越しております。

次に、母子寡婦福祉資金貸付事業費特別会計歳入歳出決算であります。歳入は、次表のとおりであります。

区 分 \ 年 度	平成22年度	平成21年度	比 較	
			金 額	率
予 算 現 額	円 144,630,000	円 96,972,000	円 47,658,000	% 49.1
調 定 額	241,881,709	184,105,611	57,776,098	31.4
収 入 済 額	144,482,938	97,357,681	47,125,257	48.4
収 入 未 済 額	97,410,180	86,785,534	10,624,646	12.2
収 入 率	% 59.7	% 52.9	—	6.8

調定額 241,881,709 円に対し、収入済額が 144,482,938 円でありましたので、収入率は 59.7% で前年度に比較し 6.8 ポイント高くなっております。

次に、歳出は、次表のとおりであります。

区 分 \ 年 度	平成22年度	平成21年度	比 較	
			金 額	率
予 算 現 額	円 144,630,000	円 96,972,000	円 47,658,000	% 49.1
支 出 済 額	117,086,232	92,912,628	24,173,604	26.0
不 用 額	27,543,768	4,059,372	23,484,396	578.5
執 行 率	% 81.0	% 95.8	—	△ 14.8

予算現額 144,630,000 円に対し、支出済額が 117,086,232 円でありましたので、執行率は 81.0% で前年度に比較し 14.8 ポイント低くなっております。

以上のとおり、収入済額 144,482,938 円に対し、支出済額は 117,086,232 円でありましたので、差引残額 27,396,706 円は、剰余金として平成 23 年度へ繰越ししております。

次に、国民健康保険費特別会計歳入歳出決算であります。歳入は、次表のとおりであります。

区 分	年 度		比 較	
	平成22年度	平成21年度	金 額	率
	円	円	円	%
予 算 現 額	25,351,919,000	25,015,047,000	336,872,000	1.3
調 定 額	29,285,474,200	28,709,010,601	576,463,599	2.0
収 入 済 額	25,217,851,428	24,782,404,742	435,446,686	1.8
不 納 欠 損 額	407,879,892	350,342,426	57,537,466	16.4
収 入 未 済 額	3,661,973,971	3,579,755,783	82,218,188	2.3
収 入 率	% 86.1	% 86.3	—	△ 0.2

調定額 29,285,474,200 円に対し、収入済額が 25,217,851,428 円でありましたので、収入率は 86.1%で前年度に比較し 0.2 ポイント低くなっております。

第 1 款第 1 項国民健康保険税は、第 1 目一般被保険者国民健康保険税と第 2 目退職被保険者等国民健康保険税を合計した調定額 9,706,501,955 円に対し、収入済額は 5,645,307,110 円で、収入率は 58.2%となり、前年度に比較し 0.5 ポイント低くなっております。

なお、第 1 目と第 2 目のそれぞれの収入状況は、次のとおりであります。

第 1 目一般被保険者国民健康保険税は、調定額 8,984,024,521 円に対し、収入済額は 5,096,154,270 円で、収入率は 56.7%、第 2 目退職被保険者等国民健康保険税は、調定額 722,477,434 円に対し、収入済額は 549,152,840 円で、収入率は 76.0%となっております。

不納欠損額は 407,879,892 円で、前年度に比較し 57,537,466 円増加しておりますが、その主なものは、第 1 款国民健康保険税の 407,393,448 円で、前年度に比較し 57,735,093 円増加しております。

収入未済額は、3,661,973,971 円で、前年度に比較し 82,218,188 円増加しておりますが、引き続き徴収に努力しております。

次に、歳出は、次表のとおりであります。

区 分	年 度	平成22年度	平成21年度	比 較	
				金 額	率
予 算 現 額		円 25,351,919,000	円 25,015,047,000	円 336,872,000	% 1.3
支 出 済 額		25,139,677,192	24,776,876,288	362,800,904	1.5
不 用 額		212,241,808	238,170,712	△ 25,928,904	△ 10.9
執 行 率		% 99.2	% 99.0	—	0.2

予算現額 25,351,919,000 円に対し、支出済額が 25,139,677,192 円でありましたので、執行率は 99.2%で前年度に比較し 0.2 ポイント高くなっております。

不用額は、212,241,808 円となっておりますが、その主なものは、第 2 款保険給付費第 1 項療養諸費において医療費が見込みを下回ったことによるもの 171,574,476 円、第 2 項高額療養費において予定した高額療養費が見込みを下回ったことによるもの 9,996,852 円などであります。

なお、国民健康保険事業財政調整基金に、運用収入等 102,190 円を積立てしました。

以上のとおり、収入済額 25,217,851,428 円に対し、支出済額は 25,139,677,192 円でありましたので、差引残額 78,174,236 円は、剰余金として平成 23 年度へ繰越ししております。

次に、介護保険費特別会計歳入歳出決算であります。歳入は、次表のとおりであります。

区 分 \ 年 度	平成22年度	平成21年度	比 較	
			金 額	率
	円	円	円	%
予 算 現 額	17,508,612,000	16,265,476,000	1,243,136,000	7.6
調 定 額	17,583,114,387	16,344,065,548	1,239,048,839	7.6
収 入 済 額	17,469,934,212	16,237,568,391	1,232,365,821	7.6
不 納 欠 損 額	29,935,300	27,960,355	1,974,945	7.1
収 入 未 済 額	85,250,925	80,599,202	4,651,723	5.8
収 入 率	% 99.4	% 99.3	—	0.1

調定額 17,583,114,387 円に対し、収入済額が 17,469,934,212 円でありましたので、収入率は 99.4%で前年度に比較し 0.1 ポイント高くなっております。

次に、歳出は、次表のとおりであります。

区 分 \ 年 度	平成22年度	平成21年度	比 較	
			金 額	率
	円	円	円	%
予 算 現 額	17,508,612,000	16,265,476,000	1,243,136,000	7.6
支 出 済 額	17,462,290,849	16,160,527,297	1,301,763,552	8.1
不 用 額	46,321,151	104,948,703	△ 58,627,552	△ 55.9
執 行 率	% 99.7	% 99.4	—	0.3

予算現額 17,508,612,000 円に対し、支出済額が 17,462,290,849 円でありましたので、執行率は 99.7%で前年度に比較し 0.3 ポイント高くなっております。

不用額は 46,321,151 円となっておりますが、その主なものは、第 2 款保険給付費において利用件数が見込みを下回ったことなどによるもの 27,194,398 円などであります。

以上のとおり、収入済額 17,469,934,212 円に対し、支出済額は 17,462,290,849 円でありましたので、差引残額 7,643,363 円は、剰余金として平成 23 年度へ繰越ししております。

次に、介護保険サービス事業費特別会計歳入歳出決算であります。歳入は、次表のとおりであります。

区 分 \ 年 度	平成22年度	平成21年度	比 較	
			金 額	率
予 算 現 額	円 6,206,000	円 5,577,000	円 629,000	% 11.3
調 定 額	6,123,391	5,484,999	638,392	11.6
収 入 済 額	6,123,391	5,484,999	638,392	11.6
収 入 率	% 100.0	% 100.0	—	0.0

調定額6,123,391円に対し、収入済額が6,123,391円でありましたので、収入率は前年度と同率の100.0%であります。

次に、歳出は、次表のとおりであります。

区 分 \ 年 度	平成22年度	平成21年度	比 較	
			金 額	率
予 算 現 額	円 6,206,000	円 5,577,000	円 629,000	% 11.3
支 出 済 額	6,123,391	5,484,999	638,392	11.6
不 用 額	82,609	92,001	△ 9,392	△ 10.2
執 行 率	% 98.7	% 98.4	—	0.3

予算現額6,206,000円に対し、支出済額が6,123,391円でありましたので、執行率は98.7%で前年度に比較し0.3ポイント高くなっております。

以上のとおり、収入済額、支出済額とも6,123,391円でありましたので、差引残額はありません。

次に、老人保健費特別会計歳入歳出決算であります。歳入は、次表のとおりであります。

区 分	年 度		比 較	
	平成22年度	平成21年度	金 額	率
	円	円	円	%
予 算 現 額	25,884,000	126,032,000	△ 100,148,000	△ 79.5
調 定 額	35,701,946	131,150,860	△ 95,448,914	△ 72.8
収 入 済 額	25,801,159	121,250,073	△ 95,448,914	△ 78.7
収 入 未 済 額	9,900,787	9,900,787	0	0.0
収 入 率	% 72.3	% 92.5	—	△ 20.2

調定額 35,701,946 円に対し、収入済額が 25,801,159 円でありましたので、収入率は 72.3%で前年度に比較し 20.2 ポイント低くなっております。

次に、歳出は、次表のとおりであります。

区 分	年 度		比 較	
	平成22年度	平成21年度	金 額	率
	円	円	円	%
予 算 現 額	25,884,000	126,032,000	△ 100,148,000	△ 79.5
支 出 済 額	25,801,159	121,141,596	△ 95,340,437	△ 78.7
不 用 額	82,841	4,890,404	△ 4,807,563	△ 98.3
執 行 率	% 99.7	% 96.1	—	3.6

予算現額 25,884,000 円に対し、支出済額が 25,801,159 円でありましたので、執行率は 99.7%で前年度に比較し 3.6 ポイント高くなっております。

以上のとおり、収入済額、支出済額とも 25,801,159 円でありましたので、差引残額はありませ

ん。
なお、本特別会計は老人保健制度の廃止により、平成 23 年 3 月 31 日で打切決算を行いました。

次に、後期高齢者医療費特別会計歳入歳出決算であります。歳入は、次表のとおりであります。

区 分	年 度		比 較	
	平成22年度	平成21年度	金 額	率
	円	円	円	%
予 算 現 額	2,406,917,000	2,370,040,000	36,877,000	1.6
調 定 額	2,391,624,046	2,362,978,672	28,645,374	1.2
収 入 済 額	2,370,510,158	2,342,015,172	28,494,986	1.2
不 納 欠 損 額	583,900	0	583,900	皆増
収 入 未 済 額	25,439,588	25,241,600	197,988	0.8
収 入 率	% 99.1	% 99.1	—	0.0

調定額 2,391,624,046 円に対し、収入済額が 2,370,510,158 円でありましたので、収入率は前年度と同率の 99.1%であります。

次に、歳出は、次表のとおりであります。

区 分	年 度		比 較	
	平成22年度	平成21年度	金 額	率
	円	円	円	%
予 算 現 額	2,406,917,000	2,370,040,000	36,877,000	1.6
支 出 済 額	2,363,251,073	2,335,201,472	28,049,601	1.2
不 用 額	43,665,927	34,838,528	8,827,399	25.3
執 行 率	% 98.2	% 98.5	—	△ 0.3

予算現額 2,406,917,000 円に対し、支出済額が 2,363,251,073 円でありましたので、執行率は 98.2%で前年度に比較し 0.3 ポイント低くなっております。

不用額は 43,665,927 円となっておりますが、その主なものは第 2 款後期高齢者医療広域連合納付金第 1 項後期高齢者医療広域連合納付金において納付金の支払額が見込みを下回ったことによるもの 41,095,087 円などであります。

以上のとおり、収入済額 2,370,510,158 円に対し、支出済額は 2,363,251,073 円でありましたので、差引残額 7,259,085 円は、剰余金として平成 23 年度へ繰越しております。

次に、中央卸売市場費特別会計歳入歳出決算であります。歳入は、次表のとおりであります。

区 分 \ 年 度	平成22年度	平成21年度	比 較	
			金 額	率
	円	円	円	%
予 算 現 額	1,569,643,000	1,631,631,000	△ 61,988,000	△ 3.8
調 定 額	1,566,709,848	1,633,472,592	△ 66,762,744	△ 4.1
収 入 済 額	1,563,864,638	1,631,601,961	△ 67,737,323	△ 4.2
収 入 未 済 額	2,845,210	1,870,631	974,579	52.1
収 入 率	% 99.8	% 99.9	—	△ 0.1

調定額 1,566,709,848 円に対し、収入済額が 1,563,864,638 円でありましたので、収入率は 99.8%で前年度に比較し 0.1 ポイント低くなっております。

次に、歳出は、次表のとおりであります。

区 分 \ 年 度	平成22年度	平成21年度	比 較	
			金 額	率
	円	円	円	%
予 算 現 額	1,569,643,000	1,631,631,000	△ 61,988,000	△ 3.8
支 出 済 額	1,560,157,536	1,628,297,736	△ 68,140,200	△ 4.2
不 用 額	9,485,464	3,333,264	6,152,200	184.6
執 行 率	% 99.4	% 99.8	—	△ 0.4

予算現額 1,569,643,000 円に対し、支出済額が 1,560,157,536 円でありましたので、執行率は 99.4%で前年度に比較し 0.4 ポイント低くなっております。

以上のとおり、収入済額 1,563,864,638 円に対し、支出済額は 1,560,157,536 円でありましたので、差引残額 3,707,102 円は、剰余金として平成 23 年度へ繰越しております。

次に、簡易水道事業費特別会計歳入歳出決算であります。歳入は、次表のとおりであります。

区 分	年 度		比 較	
	平成22年度	平成21年度	金 額	率
	円	円	円	%
予 算 現 額	15,245,000	16,211,000	△ 966,000	△ 6.0
調 定 額	15,252,559	15,752,626	△ 500,067	△ 3.2
収 入 済 額	15,242,038	15,742,105	△ 500,067	△ 3.2
収 入 未 済 額	10,521	10,521	0	0.0
収 入 率	% 99.9	% 99.9	—	0.0

調定額 15,252,559 円に対し、収入済額 15,242,038 円でありましたので、収入率は前年度と同率の 99.9%であります。

次に、歳出は、次表のとおりであります。

区 分	年 度		比 較	
	平成22年度	平成21年度	金 額	率
	円	円	円	%
予 算 現 額	15,245,000	16,211,000	△ 966,000	△ 6.0
支 出 済 額	15,228,010	15,742,105	△ 514,095	△ 3.3
不 用 額	16,990	468,895	△ 451,905	△ 96.4
執 行 率	% 99.9	% 97.1	—	2.8

予算現額 15,245,000 円に対し、支出済額 15,228,010 円でありましたので、執行率は 99.9%で前年度に比較し 2.8 ポイント高くなっております。

なお、平成 23 年 3 月 31 日で本特別会計を廃止したことにより、収入済額 15,242,038 円から支出済額 15,228,010 円を差し引いた残額 14,028 円は、平成 23 年度の一般会計に繰入れしております。

次に、土地取得事業費特別会計歳入歳出決算であります。歳入は、次表のとおりであります。

区 分 \ 年 度	平成22年度	平成21年度	比 較	
			金 額	率
	円	円	円	%
予 算 現 額	116,203,000	118,058,000	△ 1,855,000	△ 1.6
調 定 額	115,490,212	117,780,080	△ 2,289,868	△ 1.9
収 入 済 額	115,490,212	117,780,080	△ 2,289,868	△ 1.9
収 入 率	100.0	100.0	—	0.0

調定額 115,490,212 円に対し、収入済額が 115,490,212 円でありましたので、収入率は前年度と同率の 100.0%であります。

次に、歳出は、次表のとおりであります。

区 分 \ 年 度	平成22年度	平成21年度	比 較	
			金 額	率
	円	円	円	%
予 算 現 額	116,203,000	118,058,000	△ 1,855,000	△ 1.6
支 出 済 額	115,490,212	117,780,080	△ 2,289,868	△ 1.9
不 用 額	712,788	277,920	434,868	156.5
執 行 率	99.4	99.8	—	△ 0.4

予算現額 116,203,000 円に対し、支出済額が 115,490,212 円でありましたので、執行率は 99.4%で前年度に比較し 0.4 ポイント低くなっております。

以上のとおり、収入済額、支出済額とも 115,490,212 円でありましたので、差引残額はありませぬ。

次に、東中野財産区特別会計歳入歳出決算であります。歳入は、次表のとおりであります。

区 分 \ 年 度	平成22年度	平成21年度	比 較	
			金 額	率
予 算 現 額	円 2,677,000	円 2,677,000	円 0	% 0.0
調 定 額	2,675,698	2,675,698	0	0.0
収 入 済 額	2,675,698	2,675,698	0	0.0
収 入 率	% 100.0	% 100.0	—	0.0

調定額 2,675,698 円に対し、収入済額が 2,675,698 円でありましたので、収入率は前年度と同率の 100.0%であります。

次に、歳出は、次表のとおりであります。

区 分 \ 年 度	平成22年度	平成21年度	比 較	
			金 額	率
予 算 現 額	円 2,677,000	円 2,677,000	円 0	% 0.0
支 出 済 額	2,675,698	2,675,698	0	0.0
不 用 額	1,302	1,302	0	0.0
執 行 率	% 100.0	% 100.0	—	0.0

予算現額 2,677,000 円に対し、支出済額が 2,675,698 円でありましたので、執行率は前年度と同率の 100.0%であります。

以上のとおり、収入済額、支出済額とも 2,675,698 円でありましたので、差引残額はありません。

最後に、東中野、東安庭、門財産区特別会計歳入歳出決算であります。歳入は、次表のとおりであります。

区 分 \ 年 度	平成22年度	平成21年度	比 較	
			金 額	率
予 算 現 額	円 704,000	円 704,000	円 0	% 0.0
調 定 額	321,149	130,246	190,903	146.6
収 入 済 額	321,149	130,246	190,903	146.6
収 入 率	% 100.0	% 100.0	—	0.0

調定額 321,149 円に対し、収入済額が 321,149 円でありましたので、収入率は前年度と同率の 100.0%であります。

次に、歳出は、次表のとおりであります。

区 分 \ 年 度	平成22年度	平成21年度	比 較	
			金 額	率
予 算 現 額	円 704,000	円 704,000	円 0	% 0.0
支 出 済 額	321,149	130,246	190,903	146.6
不 用 額	382,851	573,754	△ 190,903	△ 33.3
執 行 率	% 45.6	% 18.5	—	27.1

予算現額 704,000 円に対し、支出済額が 321,149 円でありましたので、執行率は 45.6%で前年度に比較し 27.1 ポイント高くなっております。

以上のとおり、収入済額、支出済額とも 321,149 円でありましたので、差引残額はありません。

以上で、一般会計及び各特別会計における平成 22 年度決算の概要についての説明を終わります。

なお、決算書のほか、地方自治法第 233 条第 5 項の規定に基づき、決算書の付属書類として歳入歳出決算事項別明細書、実質収支に関する調書及び財産に関する調書を提出しております。